

一月二十六日(火)

〈人間健康学部 健康栄養学科〉

平成二十八年年度 金沢学院大学 入学試験問題（一般入試Ⅰ期）

国語

（注意事項）

解答用紙に「国語」と記入・マークしてから解答してください。

問題は1ページから12ページまであります。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

（解答上の注意）

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して

④と解答する時は、下記の（例）のように解答番号10の解答欄の④にマークしてください。

（例）

解答番号	解 答 欄									
10	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問題は、次のページからです。

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

アメリカ社会で生活する人びとは、未来を語ることを厭わ^{いと}ない。アメリカでは未来は幾通りにも語られ、語り手も次々と現れる。集団によって語られることもあれば、個人によって語られることもあり、その担い手も様々だ。

したがって、未来像といっても、これは必ずしも未来予測を意味しない。予言や予見、希望や願望などの類も含まれる。^ア端的に「未来を語る」ことだ。そして、未来語りはアメリカに^イ脈々と流れる文化の一つである。

さらに、21世紀の今日、その表現方法は言葉に限らない。ウェブによってメディアの複合的利用が可能になった現在、プレゼンのような形からアートや音楽などの特定の作品形態をとることもある。それらの全てが^ウ語り（ナラティブ）である。

未来語りを掛け金に、未来のイメージを複数練り上げ、その一つ一つに対して複数の経路から踏破する方法を計画し実行に移す。そうして語りに込められた多数の可能性を、現実（リアル）として未来に出現させる。そのため競い合いの場がマーケットであり、実際に語りを現実に変えていく。

[※]未来経済にとっては、未来が多様であることが基本条件だ。単一の未来しかないのであれば、そもそも賭けは成立しない。だから可能性は^①タキに^{わた}亘る方がよい。そのためにも諸説あるのが望ましい。不運や失敗もあるかもしれないが、それまでも織り込み済みで現実化される。となると、多元的な語りの存在が容認され^②スイショウウされる環境が望ましい。多産的な言説環境は、[※]バレーだけでなくアメリカ社会の特性である。

大望が望まれるバレーでは、しばしば、Better World, Better Future という表現が発せられる。この表現を受け止める上で^③リユウイすべきは、その向かう先^④ステイネーションが **I** であることは、大前提として広く認められていることだ。誰もが納得する Better World, Better Future などないよね、というのが出発点の認識だ。その上で、^⑤仮初めの暫定的な収束先を探ることが、**デモクラシー**の中で生きることだと理解されている。

だから、常に最初は私秘的（プライベート）な——私ないし誰かにとっての——Better World である。その大望をまずはスピークアップ（公言）した上で、おもむろに賛同者を増やしていく。極めて私的な発想を公的な了解事項へと転換させようと試みる。その活動を支えるのがメディアでありデモクラシーだ。こうした認識が前提にされている。

初発のスピークアップは、あくまでも「私にとっての理想的未来」であり、個人的な経験や学習の成果にすぎず、完璧なものであるはずがない。

だがその後、その個人的未来像を、公の未来像に練り直す過程が控えている。

したがって、未来語りは、単体の命題として提出されて終わるのではなく、議論やディベート等の形で社会的過程を経て、公的なものへと整形されていく。ここでいう議論やディベートとは、その進行ルールが共有され、幼少期からの訓練によって身体化された、言説練成のための方法論だ。したがってその過程は、参加者の間で「未来像のバグ取り」をしているようなものだ。※ホフマンのいう「議論、執筆、実践」の三段階の第一段階だ。未来語りが機能するには、多元的な語りを可能にするアメリカ社会の習慣が必要条件になる。

その上で、Better World, Better Future という表現に見られるように、世界と未来に対して、空間的ならびに時間的な他者＝異者の存在を見据えている。そのような異者の存在を日頃から実感できるのが、多文化社会アメリカだ。

そのため、未来は現在と地続きのもののように想像される。^(カ)異者の存在が示唆する、現在に孕(はら)まれる「異なる今の可能性」が、遠からず実現される「未来」とみなされる。つまり、現在に潜伏する可能性として、未来が具体的にイメージされる。そのような発想が、私秘的な生活空間だけではなく、複数人が行き交う公共的(パブリック)な空間においても適用される。そこには現在の中に未来が孕まれているという感覚がある。未来とはもう一つの現在なのである。

こうした構想としての未来語りが^(キ)リンリツするためには、多数の語りが公表され流通することを可能とするコミュニケーション環境が不可欠だ。この点でアメリカの司法が蓄積してきた「表現の自由」の解釈は重要だ。その自由の下で、プロの報道機関から個人のジャーナリスト、^(ク)市井のブロガーまで含む、頭名による多様な言説の流通の場が、ウェブ上に展開されている。

スピークアップをしても大丈夫、少なくとも法的問題は生じない、という抑えのルールが広く了解されている。それは、アメリカのメディア／ジャーナリズムが幾多の裁判を通じて獲得してきた成果の賜だ。スピークアップをしても問題のない回路があるからこそ、公に発言できる。そうして多様な語りが公表される。

任意のフォーラムの形成を可能にするような、多元的発言を許すメディア／司法システムが存在していること。これは、未来語りが絶えないための条件であり、ひいては未来経済が^(ケ)カドウするための条件でもある。自由とともに多元性が、表現の開放性をアメリカ社会にもたらしている。これが未来語りの多様性に繋がっている。

(池田純一『未来』のつくり方——シリコンバレーの航海する精神——)による)

※未来経済：未来の可能性を担保にして現在の経済を回そうとする試み。

※バレー：アメリカ合衆国のカリフォルニア州サンフランシスコで、情報・通信関連の先端企業や研究所が集まっている地区。

いわゆるシリコン・バレーのこと。

※バグ：コンピュータ・プログラムの誤りや欠陥。

※ホフマン：リード・ギャレット・ホフマン。アメリカ合衆国の起業家。ベンチャー資本家。ソーシャルネットワークワーク LinkedIn を創業した。

問1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

① タキ

① キシカイセイのホームラン。

② 選手団のキシユを務める。

③ 人生のキロに立たされる。

④ 徴兵をキヒする。

⑤ キセイ服を買う。

② スイシヨウ

① シヨウガク金を受け取る。

② 身元を勤務先にシヨウカイする。

③ 条約締結のセッシヨウを重ねる。

④ 内政カンシヨウだと非難する。

⑤ 関税シヨウヘキを撤廃する。

③ リユウイ

① リユウトウダビに終わる。

② リユウシが粗い画像。

③ 土地がリユウキする。

④ 一部リーグにザンリユウが決まる。

⑤ リユウレイな文章。

④ リンリツする

① 係りをリンバン制にする。

② 夏休みのリンカン学校。

③ リンキオウヘンに対応する。

④ リンリ学を学ぶ。

⑤ キンリンの人びと。

⑤ カドウする

① カカンな攻め。

② カモクな人。

③ カツカ搔痒せうようの感。

④ カギヨウに精を出す。

⑤ キンカギヨクジョウのごとく尊ぶ。

問2 傍線部(ア)「端的に」、傍線部(イ)「脈々と」、傍線部(キ)「市井の」の本文中の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は(ア)＝、(イ)＝、(キ)＝。

(ア) 端的に

- ① 明確に ② 簡単に ③ 厳正に ④ 気楽に ⑤ 特別に

(イ) 脈々と

- ① 細々とかろうじて ② 深いところに潜伏して ③ 広範囲に影響を与えて

- ④ 途絶えず力強く ⑤ 徐々に変化しながら

(キ) 市井の

- ① 素人の ② 高名な ③ 主婦の ④ 一般の ⑤ 公の

問3 傍線部(ウ)「語り(ナラティブ)」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は、。

- ① 精密な論理 ② 直接の対話 ③ 架空の物語 ④ 客観的なデータ ⑤ 巧みな話術

問4 空欄「」に当てはまる四字熟語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 。

- ① 同工異曲 ② 呉越同舟 ③ 大同小異 ④ 有名無実 ⑤ 同床異夢

問5 傍線部(エ)「仮初めの暫定的な収束先を探ることが、デモクラシーの中で生きることだと理解されている」とあるが、この部分についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 11。

- ① 究極の目的達成を目指して、身近な問題から一歩一歩段階的に解決していくやり方が、デモクラシーの精神にかなったものだとして理解されていること。
- ② 解決が難しい問題は一端置いておいて、解決可能な問題から優先的に取り組んでいくのが、デモクラシーの社会での一般的な解決法だと理解されていること。
- ③ 反対するものが誰もいない場合でも、架空の反論を想定して、とことん議論を深めるのがデモクラシーにおける議論の基本であると理解されていること。
- ④ 完璧な結論ではないが、意見の異なる人々がとりあえず納得できる妥協点を見つけることが、デモクラシーの下では当然のことであると理解されていること。
- ⑤ 完成されたものでなくても、とにかく夢を目に見える形にして多くの人に示すことが、デモクラシーの社会では最も有効であると理解されていること。

問6 傍線部(オ)「未来像のバグ取り」とあるが、この意味として適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 12。

- ① それぞれの未来像の矛盾点をチェックして、ひとつひとつ像の論理的な整合性を高めていくこと。
- ② それぞれの未来像の問題点を検討し、皆が納得できる実現可能なものを作り上げていくこと。
- ③ それぞれの未来像の曖昧な点を指摘することによって、議論の焦点を明瞭に示していくこと。
- ④ それぞれの未来像の空白部分を想像力によって補いより完璧な語りに仕上げていくこと。
- ⑤ それぞれの未来像の欠陥を見つけ批判し合うことで、互いの立場を明確にしていくこと。

問7 傍線部(カ)「異者の存在が示唆する、現在に孕(はら)まれる「異なる今の可能性」とあるが、この説明として適当なものを、次の①〜

⑤の中から一つ選べ。解答番号は

13

。

① 現在の世界はよりよい未来をつくるための議論と実践の過程のなかに暫定的に存在しているに過ぎず、現在の世界は、常に現在の世界を超えようとする異論と分かちがたく結びついているということ。

② 自由な議論ができる社会においては、現在の世界についても唯一絶対なものとして受け入れるのではなく、対立する立場からの検証と批判が行われているということ。

③ 未来を語るときに必要な想像力が現在の世界について向けられると、あり得たかも知れない別の世界が浮かび上がってきて、現在の世界の価値を相対的に考えられるということ。

④ 様々な考え方もつ人々が議論して決めるデモクラシーの社会の下で暮らす人々は、社会の一員としての自覚が強く、よりよい未来世界をつくるうという責任感も持っているということ。

⑤ 自分と異なる意見を持つ人がいるように、現在の世界とは異なる別の世界を想定することで、時代を隔てた未来の人々との対話や議論が可能になるということ。

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

このお嬢さんに遇ったのはある避暑地の停車場である。あるいはもつと厳密に云えば、あの停車場のプラットフォオムである。当時その避暑地に住んでいた彼は、雨が降っても、風が吹いても、午前は八時発の下り列車に乗り、午後は四時二十分着の上り列車を降りるのを常としていた。なぜまた毎日汽車に乗ったかと云えば、——そんなことは何でも差支えない。しかし毎日汽車になど乗れば、※一ダズンくらいの顔馴染みはたちまちの内に出てしまう。お嬢さんもその中の一人である。けれども午後には※七草から三月の二十何日かまで、一度も遇ったと云う記憶はない。午前もお嬢さんの乗る汽車は保吉には縁のない上り列車である。

お嬢さんは十六か十七であろう。いつも銀鼠の①ボウシをかぶっている。背はむしろ低い方かも知れない。けれども見たところはすらりとしている。殊に脚は、——やはり銀鼠の靴下に踵の高い靴をはいた脚は鹿の脚のようにすらりとしている。顔は美人と云うほどではない。しかし、——保吉はまだ東西を論ぜず、近代の小説の女主人公に無条件の美人を見たことはない。作者は女性の描写になると、たいてい「彼女は美人ではない。しかし……」とか何とか断っている。按ずるに無条件の美人を認めるのは近代人の②面目に関するらしい。だから保吉もこのお嬢さんに「しかし」と云う条件を加えるのである。——念のためにもう一度繰り返すと、顔は美人と云うほどではない。しかしちよいと鼻の先の上った、③アイキョウの多い円顔である。

お嬢さんは騒がしい人ごみの中にぼんやり立っていることがある。人ごみを離れたベンチの上に雑誌などを読んでいることがある。あるいはまた長いプラットフォオムの縁をぶらぶら歩いていることもある。

保吉はお嬢さんの姿を見ても、恋愛小説に書いてあるような動悸などの高ぶった覚えはない。ただやはり顔馴染みの※鎮守府司令長官や売店の猫を見た時の通り、「いるな」と考えるばかりである。しかしとにかく顔馴染みに対する親しみだけは抱いていた。だから時たまプラットフォオムにお嬢さんの姿を見ないことがあると、何か失望に似たものを感じた。何か失望に似たものを、——それさえ④ツウセツには感じた訳ではない。保吉は現に売店の猫が二三日行くえを晦ました時にも、全然変りのない寂しさを感じた。もし鎮守府司令長官も⑤頓死か何か遂げたとすれば、——⑥この場合はいささか疑問かも知れない。が、まず猫ほどではないにしろ、勝手の違う気だけは起ったはずである。

ところが三月の二十何日か、生暖い曇天の午後のことである。保吉はその日も勤め先から四時二十分着の上り列車に乗った。何でもかすかな記憶によれば、調べ仕事に疲れていたせい、汽車の中でもふだんのように本を読みなどはしなかったらしい。ただ窓べりによりかかりながら、春めい

た山だの畠だのを眺めていたように覚えている。いつか読んだ横文字の小説に平地を走る汽車の音を「Tratata tratata tratata」と写し、鉄橋を渡る汽車の音を「Trararach trararach」と写したのがある。なるほどぼんやり耳を貸していると、ああ云う風にも聞えないことはない。——そんなことを考えたのも覚えている。

保吉は物憂い三十分の後、やつとあの避暑地の停車場へ降りた。プラットフォオムには少し前に着いた下り列車も止っている。彼は人ごみに交りながら、ふとその汽車を降りる人を眺めた。すると——意外にもお嬢さんだった。保吉は前にも書いたように、午後にはまだこのお嬢さんと一度も顔を合わせたことはない。それが今不意に目の前へ、日の光りを透かした雲のような、あるいは猫柳の花のような銀鼠の姿を現したのである。彼は勿論「おや」と思った。お嬢さんも確かにその瞬間、保吉の顔を見たらしかなかった。と同時に保吉は思わずお嬢さんへお時儀をしてしまった。

お時儀をされたお嬢さんはびっくりしたのに相違あるまい。が、どう云う顔をしたか、生憎もう今では忘れていている。いや、当てもそんなことは見定める余裕を持たなかつたのであろう。彼は「しまった」と思うが早い、たちまち耳の火照り出すのを感じた。けれどもこれだけは覚えている。

——(五) お嬢さんも彼に会釈をした!

やつと停車場の外へ出た彼は彼自身の愚に憤りを感じた。なぜまたお時儀などをしてしまったのであろう? あのお時儀は全然反射的である。ぴかりと稲妻の光るトタンに瞬きをするのも同じことである。すると意志の自由にはならない。意志の自由にならない行為は責任を負わずとも好いはずである。けれどもお嬢さんは何と想つたであろう? なるほどお嬢さんも会釈をした。しかしあれは驚いたヒョウウシにやはり反射的にしたのかも知れない。今ごろはずいぶん保吉を不良少年と思つていそうである。一そ「しまった」と想つた時に無縁を詫びてしまえば好かつた。そう云うことにも気づかなかつたと云うのは……

保吉は下宿へ帰らずに、人影の見えない砂浜へ行った。これは珍らしいことではない。彼は一月五円の貸間と一食五十銭の弁当とにしみじみ世の中が厭になると、必ずこの砂の上へグラスゴオのパイプをふかしに来る。この日も曇天の海を見ながら、まずパイプへマッチの火を移した。今日のこととはもう仕方がない。けれどもまた明日になれば、必ずお嬢さんと顔を合わせる。お嬢さんはその時どうするであろう? 彼を不良少年と思つていれば、一瞥を与えないのは当然である。しかし不良少年と思つていなければ、明日もまた今日のように彼のお時儀に答えるかも知れない。彼のお時儀に? 彼は——堀川保吉はもう一度あのお嬢さんに恬然とお時儀をする気であろうか? いや、お時儀をする気はない。けれども一度お時儀をした以上、何かの機会にお嬢さんも彼も会釈をし合うことはありそうである。もし会釈をし合うとすれば、……保吉はふとお嬢さんの眉の美しかったことを思い出した。

(芥川龍之介『お時儀』による)

※一ダズン … 一ダース

※七草 … 七草粥^{がゆ}を食べる一月七日

※鎮守府 … 海軍で各地区の警護を司った機関。その司令長官は天皇直属であった。

※グラスゴオ … スコットランド最大の港湾商工業都市。パイプの産地。

問1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

① ボウシ

① 彼女の頭の良さにはダツボウだ。

② ボウクウ壕^{ごう}の跡。

③ 失恋してジボウジキになる。

④ 流行性カンボウにかかる。

⑤ 仕事がハンボウを極める。

② アイキョウ

① 助命をアイガンする。

② 仕事のアイボウ。

③ 出発のアイズを送る。

④ アイガン動物。

⑤ 朝のアイサツを交わす。

③ ツウセツ

① 要人をセツタイする。

② 情勢がセツパクする。

③ 労使間でセツショウを重ねる。

④ 神のセツリ。

⑤ セツトウ犯を逮捕する。

④ トタン

① これまでの努力がトロウに終わる。

② 胸中の思いをトロする。

③ ホクト七星。

④ 土地をジョウトする。

⑤ ゼントヨウヨウたる若者。

⑤ ヒョウシ

① イッシ報いる。

② 牛をシイクする。

③ 大会クッシの強打者。

④ 親方にデシ入りする。

⑤ 洛陽のシカを高める。

問2 傍線部(ア)「面目に関する」、傍線部(イ)「頓死」、傍線部(カ)「一瞥を与えない」の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中から一つずつ選べ。解答番号は、(ア)＝、(イ)＝、(カ)＝。

(ア) 面目に関する

(イ) 頓死

(カ) 一瞥を与えない

- ① 趣旨に反する
- ② 特徴が現れる
- ③ 伝統を無視する
- ④ 評判に差し障る
- ⑤ 本性が暴かれる

- ① 突然死ぬこと
- ② 自然災害の犠牲者となること
- ③ 遺言を残して死ぬこと
- ④ 戦死すること
- ⑤ 天寿を全うすること

- ① 笑顔を見せてくれないこと
- ② 親しく交際してくれないこと
- ③ 姿を現してくれないこと
- ④ 敬意を表してくれないこと
- ⑤ ちらりとも見てくれないこと

問3 傍線部(ウ)「この場合はいささか疑問かも知れない」とあるが、この表現がもたらす効果について最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 。

- ① 鎮守府長官という軍隊組織の権力者の権威を打ち消す効果があり、軍隊組織に対する批判的な姿勢を感じさせる。
- ② 鎮守府長官という軍隊組織上の役割に人間味を持たせる効果があり、官僚的な組織に少しでも馴染もうという意志を感じさせる。
- ③ 鎮守府長官という軍隊組織の上のものと保吉との格差を明らかにする効果があり、不平等な社会に対する憤りを感じさせる。
- ④ 鎮守府長官という軍隊組織の上のものに対して下のものが抱く圧迫感を表す効果があり、下積みの人間の悲哀を感じさせる。
- ⑤ 鎮守府長官という軍隊組織のリーダーの能力に対して疑いを抱かせる効果があり、長官個人に対する不信感を感じさせる。

問4 傍線部(エ)「お嬢さんも彼に会釈をした!」とあるが、この書き方から読み取れる保吉の気持ちについて最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 。

① 困惑

② 喜び

③ 驚き

④ 悔恨

⑤ 憐憫 れんびん

問5 傍線部(オ)「無駄」とあるが、保吉は自分の行為のどのような点を「無駄」と考えているのか。次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 24。

- ① お嬢さんから反射的に返礼を引き出すことが、自分勝手に強引である点。
- ② 無意識にお時儀をしてしまったことが、相手の存在を軽んじている表れと解釈される点。
- ③ 特別意識していないお嬢さんにお時儀をすることが、結果として相手に誤解を与えてしまう点。
- ④ こちらからお時儀をすることが、お嬢さんの鈍感さに対しての遠回しの批判になってしまう点。
- ⑤ いきなりお時儀をすることが、お嬢さんを驚かせ、当惑させるような行為である点。

問6 傍線部(キ)「もし会釈をし合うとすれば、……保吉はふとお嬢さんの眉の美しかったことを思い出した」とあるが、この部分から読み取れる保吉の気持ちについて、次の①～⑤の説明の中から最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 25。

- ① お嬢さんの優しい人柄にふれ、目立たないがその人間的な魅力の奥深さを理解し始めている。
- ② あいそのよいお嬢さんの反応から、今までのお嬢さんに対する偏見を反省し始めている。
- ③ 偶然のできごとをきっかけに、お嬢さんにそこはかとなない好意を持ち始めている。
- ④ 無意識のお時儀をきっかけに温かく触れ合えたことで、お嬢さんとの連帯感が芽生え始めている。
- ⑤ 思いがけず若い異性と知り合いになる機会が訪れたことで、周りの世界が美しく見え始めている。

問7 本文の表現や構成上の特色を説明した①～⑤の中で、最も適当なものを一つ選べ。解答番号は

26

。

- ① 保吉のエゴイズムを、第三者の視点から、冷静に客観的に描いている。
- ② 保吉の平凡な日常生活を、誇張を加えない語りで、淡々と描いている。
- ③ 保吉の微妙な心理の揺れを、軽妙な語りで、戯画化して描いている。
- ④ 保吉の社会に対しての不満を、皮肉な語りで、強調して描いている。
- ⑤ 保吉の異性に対する憧れを、叙情的な語りで、繊細に描いている。